平成 29 年大磯町議会

3 月定例会一般質問（2 月 27 日・28 日）

質問議員	質問事項（1 日目）	答弁者
<p>1</p> <p>8 番 清田 文雄議員 (60 分) 9:05~10:05</p>	<p>1. 町の障がい者福祉施策について</p> <p>障害者就労施設で就労する障がい者や、在宅で就業する障がい者の経済面の自立を勧めるため、「国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律」いわゆる、障害者優先調達推進法が平成 25 年 4 月 1 日より施行された。</p> <p>地方公共団体などは毎年度、障害者就労施設等からの物品の調達方針を作成するとともに、当該年度の終了後、調達の実績を公表することになっている。</p> <p>大磯町でも平成 27 年 11 月より、この障害者優先調達推進法に基づき、障害者就労施設からの物品等の調達について必要な事項を定めた。</p> <p>そこで、次の点について質問する。</p> <p>(1) 障害者優先調達推進法が施行されたことに対しての、現在までの町の取り組みについて。</p> <p>(2) 今までの調達目標と実績、今後の方針は。</p> <p>(3) 昨年 7 月に大磯町福祉作業所等連絡会より、役場本庁舎内での物品販売の要望が提出されたが、その内容と回答は。</p> <p>2. 旧吉田茂邸及び大磯町郷土資料館の危機管理体制について</p> <p>平成 28 年 12 月定例会において、旧吉田茂邸を郷土資料館の別館として位置付け、郷土資料館と一体的に管理、運営を行うための条例が可決され、平成 29 年 4 月 1 日から旧吉田茂邸がオープンする。</p> <p>そこで、次の点について質問する。</p> <p>(1) 平成 21 年に焼失した旧吉田茂邸は、全国民・町民の皆様の貴重な寄付により再建され、4 月より一般公開となるが、再び火事等で焼失することのないよう、新築の旧吉田茂邸の防火体制と警備体制は構築されているのか。</p> <p>(2) 昨年 11 月にリニューアルオープンした大磯町郷土資料館本館の防火体制と警備体制はどのようになっているのか。</p> <p>(3) 郷土資料館本館には、貴重な資料が過去から積み重なり保存されていると思うが、その保存体制は確立されているのか。</p> <p>(4) 常設展示や企画展など、公開展示されている資料等についての警備体制はどうなっているのか。また警備マニュアル等は整備されているのか。</p> <p>(5) 町には、委託管理されているものも含め、貴重な資源である建造物や多くの貴重な資料等が保存されている。今後の観光政策を考える上でも、危機管理体制は極めて重要であると考えているがどうか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長 教育長</p>

<p>5 15 番 柴崎 茂議員 (90 分) 15:20～16:50</p>	<p>1. 教育委員会の問題はなぜ片付かないか 町長が議会の同意を得て任命した教育委員に問題はないか。ガバナンス上の責任はだれにあるか。 (1) 学校教育課についてはどうか。 (2) 生涯学習課についてはどうか。</p> <p>2. 町民の生命や財産は守られているか。また、そこに差別はないか。 (1) 代官山の消火栓はいつつけるのか。大磯では、火災によるがれきの後片付けは何軒目から全額公費負担か。 (2) 平塚市黒部丘の日本たばこ産業の平塚工場の解体でのアスベスト対策に意を払っているか。</p> <p>3. 再度問う。栗原匡賢副町長は町長の信頼に応え、町民の負託に応えているか。 (1) 特定の建設業者に肩入れしてないか。 (2) 特定の公益財団法人に県職時代のつながりで便宜をはかってないか。</p>	<p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>
--	---	--

質問議員	質問事項(2日目)	答弁者
<p>6</p> <p>2番 竹内恵美子議員 (60分) 9:00~10:00</p>	<p>1. 子育て世代包括支援センターについて</p> <p>妊娠から出産、育児までを一貫した切れ目のない支援を実施する「子育て世代包括支援センター」については、国の「少子化社会対策大綱」(平成27年3月閣議決定)及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略(2015年改定版)」(平成27年12月24日)において、概ね平成32年度末までに、地域の実情を踏まえながら、市区町村における取り組みを一層推進し、全国展開を目指すこととされている。</p> <p>大磯町では、平成22年度から「子育て支援総合センター」を中心に、安心して子どもを産み、育てる環境づくりや子どもが健やかに成長できるための取り組みを進めているのは理解している。</p> <p>国が全国展開を目指す「子育て世代包括支援センター」の取り組みとは機能面等で異なるのか。</p> <p>また、大磯町として、この「子育て世代包括支援センター」の設置に向け、どのような対応をしていくのか。</p> <p>2. 鴨立庵の維持管理運営や整備について</p> <p>日本三大俳諧道場の一つである鴨立庵は、神奈川県「新たな観光の核づくり交付金」を活用した周辺環境整備や、平成28年度から民間事業者による指定管理者制度による維持管理・運営を図るなど、取り組みに力を注いでいる状況だと思うが、その取り組みによる手応えと今後の展開について、どのように進めていくのか。</p> <p>3. 行政組織について</p> <p>行政組織における職員配置や定員管理の在り方等については、今年度から5カ年の計画期間となる「第4次定員適正化計画」に基づき行われている。</p> <p>また、国においては、「働き方改革」などの急速な動きも見える中、本町においても、限られた人数で町政運営ができるよう努めていかなければならない状況にある。</p> <p>計画における職員数の考え方など、次の点について伺う。</p> <p>(1) 現在の職員定員数、再任用職員数、任期付職員数の状況は。</p> <p>(2) 職員の男女比等の状況は。</p> <p>(3) 年齢や採用年数別の職員構成の状況は。</p> <p>(4) 新たな取り組みを進めていくべき業務への職員配置の考え方は。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>

<p>9 12番 鈴木 京子議員 (90 分) 14:00～15:30</p>	<p>1. 新しい公共施設建設と町民参画の関係は 大磯港みなとオアシス賑わい交流施設や駅前整備の議論はオープンな形で進んでいるとは思えない。自治基本条例の中間とりまとめや議会基本条例との関係も見えてこない。 町長はどのように住民の参画を保障し、住民本位のまちづくりを進めていくのか、所見を問う。</p> <p>2. 町の福祉事業推進に対する考え方は 恒道会の運営改善はいまだに見えてこないと考える。新しい施設建設の話聞き及ぶが、増床や移転についての見解は。運営改善の内容を含め、問う。 おおいそ福祉会かたつむりの家の施設退去と損害金請求の裁判が始まる。利用者や家族に影響を与えない保障はあるのか。福祉における施設の公平・平等な使用とは何か。</p> <p>3. 職員の働き方の改善の考えは 仕事量は間違いなく増えているが、職員数は増えない。中途退職も後を絶たない状況で、住民サービスは低下しているのではないか。全庁的な業務量調査やアンケートで働き方の実態把握をし、職員のモチベーションを上げる対策をとる必要性を強く感じる。町長等の所見を問う。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>
--	--	----------------------------------

9名 20問

時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。